

お元気ですか

つかじさちの

フレッシュ便

第952号



日本共産党高知県議会活動報告

2020年7月5日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)

2020年6月18日

高知県知事 瀧田晋司 様
高知県議会議長 三石文隆 様

日本共産党高知県議会議員団

「新しい生活様式に対応した執行部との懇談会」についての申入れ

関係各位におかれましては、引き続いての新型コロナウイルス感染症対策へのご尽力に敬意を表します。
感染症の影響で経済の低迷が続く中、当議員団といたしましても、県内の旅館・宿泊業、飲食業等関係者のおかれている深刻な状況を深く憂慮し、「地産地消を促進して、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた関係者の後押しをしたい」との思いは、強く共有をするものです。しかしながら、表記の懇談会につきましては、以下の理由により、現段階での開催は時期尚早、あるいは不適当ではないかと存じます。表記懇談会の開催について慎重なご判断をいただけるよう、申入れをいたします。

1. 県民へ正確なメッセージを届ける必要性

県広報誌7月号(最新号)は、「新型コロナウイルス感染症について」との特集を組み、県民に対して、「距離の確保」や「3密の回避」に加え、観光行事においては「多人数での会食は避ける」などの生活に感染症予防を根付かせる、行動変容を呼びかけているところです。また、医療・介護・福祉等の現場では、緊張感を持った感染予防が引き続き行われている状況です。一方で、経済活動の再開も重要な課題であり、現局面では、感染症予防と経済活動再開の両面を見据え、県民へ正確なメッセージを届けることが必要です。表記懇談会は、「新しい高知の宴会方式を実践し、県民に取組をアピールする」としていますが、宴会を実践することでアピールするという方法では、県民へのメッセージが正確なものとはならず、かえって「誤解」を広げるものとなるのではないかと危惧します。

19日より県をまたぐ移動自粛が解除となる今こそ、どのような会食なら可能であるのかについては、明確な基準を示しつつ、県民が真に安心できる形で、県として正確な情報発信を行うことがまずは肝要ではないかと考えるところです。

2. 危機管理上の課題

表記懇談会は、全議員と、知事、副知事、部長、副部長など執行部全体が参加するものと想定されています。万が一にも、懇談会後に参加者から感染症陽性者が出るという想定外の事態を想定すれば、危機管理の観点から重大な問題があると言わざるを得ません。

以上、申し上げ、重ねて、表記懇談会の開催について慎重なご判断をいただけるよう要請いたします。

物議をかもしている県議会議員と知事などの
100人規模の「大宴会」日本共産党県議団 事前申し入れし不参加

農業者のみなさんへ コロナ感染症対策への支援制度

国のオニオニ補正予算で打ち出された農林水産省の支援制度が具体化されています。
高収益作物次期作支援交付金は、2月から4月に野菜、果樹、花き、茶と小豆、たばこ等に次期作を支援するため100万円以内、施設

営農継続のためぜひ活用を

花きや大葉等は100万円以内、施設果樹は100万円以内、交付金100万円以下でも対象になります。
Z. 経営継続補助金は、省カ化機械の導入や感染防止対策に最大で150万円の補助その他にも、色々な支援策がこのク月中の申請が可能です。詳しくは、農改善所 861-0000へ

なるがも日記

No 950

経済活動の再開と感染
防止対策とのバランスを
突で、時期尚早と指摘し
どつと行くと、各方面
私たちが今と、県民の念
での様々な取り組みが行
われています。とても大
事は活動ですが、6月23
日に開催さ
れた「懇
早くもク月、例年なら
街のあちこちで鳴り響きの
練習が行われ、鳴子の音
が聞こえてくる季節、な
んだがさみしいです。ね
早くワワキの開催ができ
はじける笑顔の踊り子さん
たちが見られる日が来る
ことを強く願っています。
先の日曜日、見合わせて
いた初孫の「おく、初め
と、両親父母を連れて行
きました。まだ4月にも
なっていないのに、早く
もズリばいも始めたつた
ん、さうと料米、「踊り
子」ゆるいと思えます。

早くもク月、例年なら街のあちこちで鳴り響きの練習が行われ、鳴子の音が聞こえてくる季節、なんだがさみしいです。ね早くワワキの開催ができてはじける笑顔の踊り子さんたちが見られる日が来ることを強く願っています。先の日曜日、見合わせていた初孫の「おく、初めと、両親父母を連れて行きました。まだ4月にもなっていないのに、早くもズリばいも始めたつたん、さうと料米、「踊り子」ゆるいと思えます。